

角 岳史

MC・指揮

島根県に生まれる。東京学芸大学芸術課程音楽科卒業。指揮と作曲を学ぶ。1995年よりウィーンに留学し研鑽を積む。1996年より2009年まで(財)日本オペレッタ協会の全ての公演において、指揮者または合唱指揮者として、『こうもり』『メリーウィドウ』をはじめ数多くのオペレッタに携わる。これまで各地の団体にモーツァルト、ヴェルディ、プッチーニ、ビゼーなどのオペラを数多く指揮。『オペラ座の怪人』(劇団四季)、『ホイッスル・ダウン・ザ・ウィンド』『王家の紋章』(東宝)などのミュージカルや、オーケストラや合唱の指揮者としても各方面で活躍。2009年より東京オペレッタ劇場を主宰し、公演のプロデュース、指揮の他、演出、日本語訳詞なども手がけている。主なプロデュース作品は『カルメン』『椿姫』『こうもり』『メリーウィドウ』『天国と地獄』『魔笛』『ポッカッチョ』『小鳥売り』。15年にみずから演出した『伯爵令嬢マリツァ』で佐川吉男音楽賞奨励賞を受賞。指揮を井崎正浩、湯浅勇二、松尾葉子、ルドルフ・ビーブル、ヴァラディ・カタリンの各氏に、作曲を青木祐二、吉崎清富の各氏に師事。

菊地美奈

(ソプラノ)

東京藝術大学卒業、同大学院修了。これまで新国立劇場『魔笛』パミーナ、同『ジークフリート』森の小鳥、小澤征爾指揮『ファウストの劫罰』天の声、佐渡裕プロデュース『カルメン』フラスキータ、二期会・ハンブルク州立歌劇場共催・P.コンヴィチュニー演出『皇帝テイトの慈悲』セルヴィーリア、二期会・宮本亜門演出『フィガロの結婚』スザンナ等オペラに多数出演。日本歌曲、ミュージカルやポピュラーソングまでの広いレパートリーを生かし、『菊地美奈うたのおもちゃ箱』『銀色の瞬間』等コンサート企画演出・脚本・作詩、『伯爵令嬢マリツァ』『白馬亭にて』『ポッカッチョ』訳詞、ミュージカル『フォラジュリーと聖なる城』原作、同『ジュエルボックス』作詞等多彩な活動を行っている。2015年オペラデビュー20周年『メリー・ウィドウ』を企画主演、20年『オペラ わが町』(作曲 上田亨)を委嘱初演。近年は演劇に目覚め『夏の夜の夢』『所太平記』『Red Wing』『人生はガタゴト列車に乗って』『ヴェニスの商人』『明日の幸福』『真砂女』等出演、活動の幅をさらに広げている。東海大学非常勤講師、朝日カルチャーセンター講師、二期会愛好家クラス講師、二期会会員。(一社)オンブラゾリステン理事、(一社)グレーテル座理事、歌劇座チエルケット・ドール代表、ねりま演劇を観る会幹事。

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~miminana/>

J.シュトラウス二世『ジプシー男爵』～序曲

J.シュトラウス二世『ジプシー男爵』～「O habet acht」
「おそれよ、闇を」

J.シュトラウス二世『ジプシー男爵』～「Werberlied」
「さあ手を貸して」

J.シュトラウス二世 ポルカ「ハンガリー万歳！」

トラディショナル「ひばり」

J.ブラームス ハンガリー舞曲第5番

—— 休憩 ——

F.レハール ワルツ「金と銀」

F.レハール『メリーウィドウ』～「Vilja Lied」
「ヴィリアの歌」

F.レハール『メリーウィドウ』～「Lippen schweigen」
「メリーウィドウワルツ」

F.レハール『微笑みの国』～「Dein ist mein ganzes Herz」
「わが心のすべて」

E.カールマーン『チャールダーシュ侯爵夫人』～「Ja] maman」
「ヤイ、ママン」

E.カールマーン『チャールダーシュ侯爵夫人』～
「Tausend kleine Engel」
「踊りたい」

E.カールマーン『伯爵令嬢マリツァ』～「Zigeuner Lied」
「ジプシーの歌」

E.カールマーン『伯爵令嬢マリツァ』～「Komm, Zigany」
「さあ、ジプシー」

E.カールマーン『伯爵令嬢マリツァ』～
「Braunes Mädel von der Puszta」
「プスタでは娘たちが」

* 曲目は変更になる可能性があります。

古館由佳子

(ジプシーヴァイオリン)

岩手県宮古市出身。桐朋学園大学音楽学部卒。ハンガリー・ブダペストにて、ハンガリー最高賞であるコシュート・ラヨシ賞受賞者のポロシュ・ラヨシ、ヴァイダ・バルナバーシュに、ジプシーヴァイオリンを師事。2006年、ハンガリー国際ジプシーヴァイオリンコンクールにて、審査員特別賞、レメーニ・エデ協会賞、ハンガリー演奏家・舞踊家協会賞、をそれぞれ受賞。ロマ民族以外で、また、アジアの女性として初めての授賞として、ハンガリー国内外で話題をさらった。2010年ブダペストにて、ヴァイダ・コンサート・ジプシーオーケストラを設立。2013年、2014年とハンガリー国立博物館のコンサートに招聘され、ヴァイダコンサートジプシーオーケストラのソリスト兼プリーマーシュ(ハンガリー語でジプシー楽団リーダーの意味)として演奏。2019年日本ハンガリー友好150周年記念コンサートをブダペストで開催。2021年ロシア国際芸術アカデミーのコンテストで「プリーマーシュ」として金賞受賞。同アカデミー会員。

日比野景

(ソプラノ)

ソプラノ歌手、歌役者。岐阜県出身。名古屋音楽大学声楽科卒業、同大学院修了。大野恵子、故・戸田敏子の各氏に師事。二期会会員。オペラ『魔笛』童子2(二期会公演)でオペラデビュー。以後、『フィガロの結婚』ケルビーノ、伯爵夫人、『愛の妙薬』アディーナ、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、ミミ、『ドン・ジョバンニ』、『椿姫』、『奥様女中』、モノオペラ『与謝野晶子〜みだれ髪』、オペレッタでは『天国と地獄』クビード、『パリの生活』ギャブリエル、『小鳥売り』、『こうもり』、ミュージカル『ライト・イン・ザ・ピアッツァ』マーガレット他、様々な舞台に主要な役どころで数多く出演、いずれも好評を得ている。近年では『気軽にオペレッタシリーズ』と題して、角岳史演出台本による出演人物を2〜3人に絞ったコンパクトで分かりやすいオペレッタに5年連続で出演。また、年間通して各地でコンサートソリストとしても活躍、自作の台本を用いた歌曲語など、多彩で楽しいプログラムにより各地でオーディエンスを魅了している。CD『日本の歌〜明治から平成まで』(日本クラウンレコード)、『日本の歌II〜初恋/少年時代』、『日本語で歌うオペレッタ名曲集』(Beltaレコード)

小貫岩夫

(テノール)

同志社大学神学部、大阪音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第11期修了。数々のコンクールで優勝、入選する。95年『魔笛』タミーノ役に抜擢され、テオ・アダムらと共演しデビュー。翌年にはケムニッツ市立歌劇場(ドイツ)に同役で招聘出演し好評を得る。98年より文化庁派遣でミラノへ留学。2000年新国立劇場デビュー以来、二期会を中心に『鳴神』(04)(市川團十郎演出)、『コジ・ファン・トゥッテ』(06)(宮本亜門演出、文化庁芸術祭大賞受賞)、『フェランド』、二期会『魔笛』(07/10)(実相寺昭雄演出)タミーノ、佐渡裕指揮『こうもり』(11)アルフレードなどで活躍。近年では、二期会『魔弾の射手』(18)(コンヴィチュニー演出)の主役マックスなど、常に新境地を開拓し続けている。また2013年から3年連続、二期会のオペレッタに主役で出演し演技力を発揮している。コンサートでは2011年、13年、15年にウィーンオペラ舞踏会管弦楽団のニューイヤークンサートのソリストとして舞台を飾った。2013年、天皇皇后両陛下御親覧のチャリティー・ボールで御前演奏し、お言葉を賜るほか、フィレンツェではイタリア元首相夫妻主催のコンサートに招かれた。その他『第九』『メサイア』『レクイエム』などでも高い評価を得ている。2010年から毎年、大阪と東京でリサイタルを開催。二期会会員。二期会オペラ研修所講師。東京藝術大学オペラ専攻非常勤講師。

小栗純一

(バリトン)

東京藝術大学声楽科卒業。劇団四季研修所(8期)を経て、現在二期会、青の会、各会員。二期会公演『メリー・ウィドウ』ダニロ役でデビュー。『こうもり』ファルケ、アイゼンシュタイン、『魔笛』パパゲーノ、『ドン・ジョバンニ』タイトルロール、『フィガロの結婚』伯爵、『カルメン』エスカミーリオ、『椿姫』ジェルモン、『トゥーランドット』ピン、『スベードの女王』エレッキー、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『天竺物語』図書之助、『チャールダッシュの女王』フェリパーチ、『学生王子』エンゲル博士等、多くのオペラ、オペレッタの主役を務める一方、『マイ・フェア・レディ』ヒギンス教授、『サウンド・オブ・クラシック』トラップ大佐、『ファンタスティックス』エル・ガヨ等、ミュージカルでも主役を演じた。また『第九』や『レクイエム』、『ニュー・イヤークンサート』での一流オーケストラとの共演も多く、音楽の友ホール日本歌曲コンサート・シリーズ"でのその歌唱力は高く評価されている。